

平成30年度 自己評価結果

平安幼稚園

1. 教育・保育理念

子どもの幸せのため、子どもの権利条約（①生きる権利 ②育つ権利 ③守られる権利 ④参加する権利）を遵守し、人格主義の基本理念（誠実・忍耐・勤勉）と良心を育てる。

2. 教育方針

本園の教育は園児の言語（英語を含む）、情緒、行動、社会性および身体の調和的発達を助長し、望ましい人間形成を目指すものである。

3. 教育目標

- ①読み書きができる賢い子ども
- ②情緒が豊かで明るい子ども
- ③よく考え、進んで行動する子ども
- ④仲良く遊び、協力し合う子ども
- ⑤身体が丈夫で逞しい子ども

4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- ①園児一人ひとりに合わせた教育・保育の充実
- ②職員資質向上のための研修の充実

5. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	備考
(1) 建学の精神や教育、保育理念に基づいた幼稚園の運営状況	A	
(2) 幼稚園の状況を踏まえた教育目標等の設定状況	B	
(3) 幼稚園の教育課程の編成・実施の考えについての教職員間の共通理解の状況	A	
(4) 学校行事の管理・実施体制の状況	A	
(5) 年間の指導計画や週案などの作成の状況	A	
(6) 遊具・用具の活用	B	
(7) ティーム保育などにおける教員間の協力的な指導の状況	A	
(8) 幼児に適した環境に整備されているかなど、クラス経営の状況	B	
(9) 幼稚園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導の状況 ・環境を通して行う幼稚園教育の実施の状況 ・幼児との信頼関係の構築の状況 ・幼児の主体的な活動の尊重 ・遊びを通しての総合的な指導の状況 ・一人一人の発達の特性に応じた指導の	B A C B A	

(10) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断の実施の状況	A	
(11) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A	
(12) 法定の学校安全計画や学校防災計画等の作成・実施の状況	A	
(13) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	B	
(14) 安全点検や、教職員の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A	
(15) 個別の指導計画の作成の状況	A	
(16) 家庭との連携状況	A	
(17) 園長など管理職の教育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、 また、多くの教職員からの信頼の状況	A	
(18) 校務分掌や主任制等が適切に機能するなど、幼稚園の明確な運営・責任 体制の整備の状況	A	
(19) 各種文書や個人情報等の学校が保有する情報の管理の状況、 また、教職員への情報の取り扱い方針の周知の状況	A	
(20) 学校保健法、労働基準法等の各種法令の遵守状況	A	
(21) 保育研究の継続的实施など、指導改善の取組の状況	B	
(22) 園内における研修の実施体制の状況	A	
(23) 園内研修の課題の設定の状況	B	
(24) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A	
(25) 指導が不適切である教員の状況の把握と対応の状況	A	
(26) 教育目標の設定と自己評価の実施状況 ・ 幼児や幼稚園の実態、保護者の意見要望等を踏まえた幼稚園としての目標等 の設定の状況 ・ 目標等を踏まえた自己評価の項目の設定状況 ・ 自己評価が年に1回以上定期的に実施されているかなどの実施状況 ・ 自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・ 全職員が評価に関与しているかなどの体制の状況 ・ 自己評価の結果の設置者への報告と状況	A A A A A A	
(27) 幼稚園に対する保護者の意見・要望等の状況 ・ 保護者の満足度の把握の状況 ・ 教育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況	B B	

(28) 幼稚園に関する様々な情報の提供状況	A	
(29) 幼稚園公開の実施の状況	A	
(30) 幼児の個人情報の保護の状況	A	
(31) 学校評価結果の公表状況	B	
(32) 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供状況	A	
(33) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	B	
(34) 保護者の実情や要望による幼稚園の子育て支援活動の実施状況	B	
(35) 園や教職員による受け入れ体制の状況	A	
(36) 幼稚園の目的、教育課程との関連、幼児の負担、家庭との連携等への配慮	B	
(37) 施設設備 ・施設設備の活用状況 ・設置者と連携した施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況 ・設置者と連携した幼稚園教育の情報化の状況	A	
(38) 遊具・用具・図書等 ・設置者と連携した遊具・用具・図書等の整備状況	A	

6. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画の考察

結果	理由
B	<p>① 園児一人ひとりに合わせた教育・保育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員で園児一人ひとりの情報を共有し、個々に応じた保育内容を計画することで、成長につながる取り組みができた。また、県や中城村の巡回相談を利用し連携をとることで園児の実態に踏まえた保育を行うことが出来、安心した園生活を送れた様に感じる。 ・就学に向けて、各小学校と情報交換することで、入学までの取り組むべき内容を把握し日々の保育の中で活かすことが出来た。 <p>② 職員資質向上のための研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修に積極的に参加し、学んだ知識を職員に共有することが出来た。 ・園内研修や公開保育を通して、園の強みや課題が見つかり、改めて自園の保育を見つめ直し、今後へ繋げることが出来た。

7. 総合的な評価結果

- ・ E C E Q公開保育では、他園の先生方の意見を聞くことで自園の強みを知り、また課題を見つけることで現在の保育を見つめ直す良い機会となった。また、職員が様々な研修に参加することで、今後に向けての取り組みが明確になり、職員の質の向上にもつながったと感じる。
- ・ 各行事では、子どもたち一人ひとりの力を発揮し、大きな成長につなげることができた。しかし、日々の保育の中で主体的に取り組む内容を計画できなかったため、今後は子ども達が主体的に活動できる環境構成を行い、継続した取り組みが出来るように努めていきたい。

8. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
身近にある動植物を取り入れた保育の充実	身近な動植物に触れ合うことで、季節の移り変わりや、命の尊さについて学ぶ機会を設ける。また、植物を育てることで草花に興味を持ち、栽培する楽しみや収穫する喜びを感じられるような環境構成に努める。
園児が主体となった活動の充実	園児一人ひとりの興味を引き出し、やりたいことを十分に組み組めるような環境づくりに努める。

◎「4. 5」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である